



# せいひ会だより

2011年(平成23年)

7月1日発行

<第135号>

社会福祉法人せいひ会

http://www.seihikai.jp/

## 梅雨の合間に・・・

(職員旅行より)



淡路サービスエリアにて

梅雨の合間に広がる青空。ほっとしながらフェリーの甲板にたたくと、遠くに見えていた勇壮な姿の橋が近づいてきました。ここは瀬戸内海、明石海峡大橋です。あっという間に真上を仰いだかと思ったら、遙か後方に過ぎ去りました。その全容はファインダーに収まりきれないくらい大きさです。朝日を浴び凜としたその橋は、かの阪神・淡路大震災にも耐えた世界最長の吊り橋として、日本の技術力によって支えられています。

潮風をからだいっぱい浴びながら、このあと体験するであろう四国の旅に心も弾みました。そう、まるで修学旅行の子供のように・・・。

今月は2年に一度の職員旅行の様子も合わせてお楽しみください。

## 6月の行事

- 13日 大村バスハイク(通所・丘の家)
- 1日・15日 書道教室(元亀・通所・丘の家・GH)
- 17日 運営推進会議(GH)
- 18日 父の日(元亀)
- 19日 父の日会(GH・風和)
- 20日 誕生会(元亀・通所)



## 7月の行事予定

- 3日 歌の発表会(風和)
- 7日 七夕(元亀・GH・じゅげむ)
- 7日 七夕そうめん流し(通所)
- 9日 七夕(風和)
- 6日・20日 書道教室(元亀・通所・丘の家・GH)
- 18日 誕生会(元亀・通所)
- 30日 中山神社・夏越しまつり



## ☆6月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます☆



松山菊枝様

中島貞子様

小玉友芳様

井田一郎様

岩永ミネ様

竹本 香様

宮本サエ様

松隈良子様

松山一生様

木村キヨ様

浅間ヒサ様

中尾スイ様

田添オコ様

松尾タツ子様

作中和子様

今回は寿限無・田添 オコ様にお話を伺いました。

大正2年6月2日、琴海町手崎に3人兄弟の長女として生まれた。生家は、お店を営まれていた。小学校を卒業後、大村に下宿して女学校に通われていたとのこと。当時は、長崎に行くにも大村に行くにも、船が交通手段だったそう。一ヶ月に一度くらいは実家に船で帰ってきていたそうだが、「屋過ぎの船で夕方に帰って、一晩家で過ごしてから翌朝の船で大村に帰らないといけないから、全然ゆっくりできなかったですよ」と、話されていた。

女学校卒業後は、小学校の先生として勤められた。初めの赴任先は炭鉱のある島で、人が多くてにぎやかだったそう。その後は、琴海町の小学校で一年生を受け持っていた。当時は戦時中で、授業中に戦闘機や爆撃機が空に現れる度、生徒たちを連れて教室の机の下や山の中に避難していたとのこと。「一年生はまだ分からない事ばかりだから、避難させるのも一苦労だったんですよ」と、その時のことを思い出して懐かしそうに目を細められながら話されていた。

22歳の頃に結婚され、ご主人は役場に勤められていたそう。ご主人が兵隊として出兵する前に長女が生まれ、戦争が終わり無事にご主人が戻られ、更に三人の子宝に恵まれたとのこと。

小学校の先生を13年間務めた後は、子育てと専業主婦をする傍ら、婦人会の仕事を長くされていたよう。趣味について尋ねると、「今はあまり何かをしたいとは思わないけど、昔はオルガンや大正琴なんかを弾いていました」と、話された。その他にも、畑で花や野菜を育てたり、ミカンを作るのが楽しみだったとのこと。

今、一番の楽しみを尋ねたところ「娘が一人いるんですけれども、娘が訪ねてくるのが嬉しいですね」と、笑顔で答えてくださった。

これからも、お身体に気を付け元気でいてください。お誕生日おめでとうございます。



「Vitality Space」とは、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意味があります。その活動を紹介するコーナーです。

## Vitality Space バイタリティ・スペース

### うたの時間

勤め人  
急いで我が家に帰りゆく  
若かりし頃の  
我 思いさるる  
立石ミドリ

音もなく 傘しめらせて  
紫陽花に こうべ下げさす  
卯の花腐し  
竹下晶子



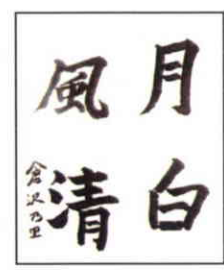
元亀 村山美志代



元亀 宇曾秋子



寿限無 田坂晴子



寿限無 金沢乃里



風和 田中アキ



風和 河野美恵

GH



6/14芋さしと6/15梅干し作りの様子です。芋は収穫のその日を思いながら、大きく育てと丁寧におよそ100本の芋苗が植えられました。また、敷地内の梅の木から収穫した「梅」と「しその葉」を使い梅干しを漬けましたが、皆さんの手慣れた手つきはさすがでした。それにしてもこれだけ大量の梅なら直売所にも出せそうです。



### 通所・GH 大村バスハイク (しょうぶ鑑賞)



しょうぶの花に感動しながら食べる大村寿司は格別です。大村公園バスハイクもすっかり恒例行事になりました。毎年この日を楽しみにしている利用者の皆さんも多いようです。しょうぶの花以上に楽しみにしているのが出店のお買い物。人気のあるお店に職員が代わりに並んだり、事前に予約をしたりと、気もそれなりに使いますがお土産をたくさん買って帰路につく皆さんの笑顔にほっとした気持ちになりました。

## 父の日特集



6月の第3日曜「父の日」、各事業所で「父の日」にちなんだ行事がありました。グループホームではご家族も参加されイースト饅頭を作り皆で食べました。通所では父の日の由来を紙芝居風にして披露されました。元亀の里では第3回を数えることになった「サイコロ競馬ゲーム」が女性利用者の応援団の黄色い声援もあり、おおいに盛り上がりました。優勝者には「優勝カップ」も贈られました。寿限無では、クラフトフラワーがプレゼントされ、マッサージや肩もみサービスなども行われました。



6月は職員旅行の第2班、第3班が「四国徳島ゆらり旅」に行ってきました。梅雨の真っ只中にもかかわらず、普段の行いが良いのか？天候にも恵まれ、お遍路さんをしっかりと体験。阿波踊り会館では「阿波踊り」も。最も上手く踊れた人に贈られる優勝旗と賞状もしっかりと頂きました。

### 職員旅行

ケアマネ 歌美の独り言

〈チン道中？後記〉



皆さん、ただいま!!「鉄の塊」に命を預けた職員旅行から無事、帰ってまいりました~!!今回は片道12時間の船旅で、船中泊!思ったより大きな船で、乗船してみると眼前には「タイタニック号」かと見間違えるような豪華なエントランスロビー!!心の中で「やったあ、これなら揺れないかな」とニンマリ。出発と同時に宴会が始まり、ビールをお腹一杯飲んだ後、日本酒で締めてきました。(約束通り、船に酔う前に酒に酔えを実行~!!)

宴会も終わりほろ酔い加減で展望風呂へいざ出陣。これまた大きなお風呂で「一安心」。浴槽につかり、体をお湯に預けた途端、内臓が右に左に…。(水の中は内臓ごと持っていかれる~)慌てて上がりました。なんとか船酔いすることなく徳島へ着き、無事観光へ回れたのでした。観光の1つ「阿波踊り会館」では踊りの上手な5名に「表彰状」が贈られる阿波踊りコンテストがあり、寿限無職員のH君がなんと入賞し表彰状を見事ゲットしてきました。(私も踊ったのですが…。残念!!)

ところで皆さん、今回の主役は「小規模多機能じゅげむ」職員のK君。出発したバスの中で、調子に乗ってビールをゴクゴク。結果はご想像通り。フェリー乗り場に着くまで「トイレ休憩要求」が限りなく続き、他の職員から罵声を浴びておりました。本人は恐縮しきり。車中で皆に「新聞ネタにするから許してやって」とお願いしなんとかその場を治めたのでした。(やれやれ)

K君、約束通りネタにしたからね~。色々回った観光の思い出よりK君の行動が印象に残った「チン・道中」でした。(笑)